

10.08

THU

2026

16:35 – 18:05 5 限

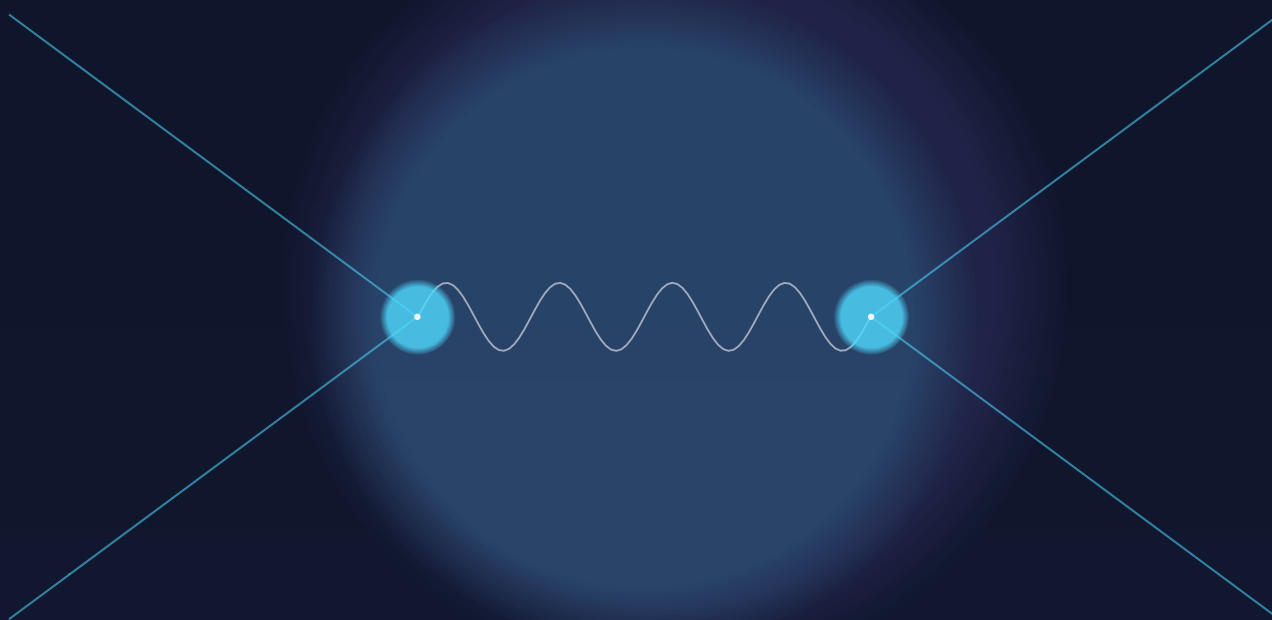
東京女子大学 6 号館 6111 教室

物理を専門としない方も歓迎・入退室自由

CPを破る チャーム物理における 超対称性現象論

SUSY PHENOMENOLOGY IN CP-VIOLATING CHARM PHYSICS

OPEN TO ALL



SPEAKER

アリス・サヴォナ

ALICE SAVONA

EPFL (スイス) 修士課程学生

ABSTRACT 概要

2019 年の LHCb によるチャームメソン崩壊の CP 非対称性の測定は、摂動的な標準模型の予言を一桁上回る値を示し、新物理の兆候として注目された。2023 年に更新された LHCb の結果は、U スピンの破れとの緊張を 1.9σ の超過という形でさらに強めている。本講演では、最小超対称標準模型 (MSSM) が、他のフレーバー観測量との整合性を保ちながら、これらの観測結果を説明しうるかどうかを検討する。

物質と反物質

クォーク

LHCb 実験

標準模型を超えて

本セミナーは文部科学省 AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業 (SPReAD) 採択課題「AI 支援階層ベイズ解析による精密物理諸量の tension 構造とメタ不確かさの分野横断的汎用評価」(研究代表者: 尾田 欣也) の助成により開催しています。

